

地域の支え合い通信

【麻生、太平百合が原、篠路茨戸、拓北・あいの里 地区版】

2021.7
第15号

改めまして！生活支援体制事業について

人生100年時代

～いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり～

高齢化により、元気なシニア世代が増える一方で、買い物やゴミ出しなど、ちょっとした手助けを必要とする高齢者も増えています。

介護サービスが必要になったときは、介護サービスがあります。

しかし「日常生活上のちょっとした困りごと」は、サービスではなく「ご近所のつながり」や「地域での支え合い」で、解決できることもあります。

そのような支え合いで解決できることを、住民組織やNPO法人、民間企業など多様な主体が連携して、地域のつながり、支え合いを進めていくこと。

それが生活支援体制整備事業です。



生活支援コーディネーターについて

生活支援体制整備事業では、住民同士などの支え合いを推進するため「第2層生活支援コーディネーター（生活支援推進員）」が活動しています。

北区内では、3名の第2層生活支援コーディネーターが、地域に出向き、皆さんの支え合い活動を把握し、人と人をつなげる活動をしています。

見つける・知る

気づく

つなぐ

地域のお宝（資源）
の把握

困りごとの把握・
共有

話し合いの
場づくり



担い手の育成・
発掘

はじめまして、2層コーディネーターの伊藤と申します！

地域に出向き、生活サービス、活動を知ろうとしていた矢先、緊急事態宣言の発令。

現在のコーディネーターの活動は、机の上とオンラインなどとなっています。

新型コロナウイルスによる外出等の制限がおさまった際には、「支え合いを求めている人」「地域のために何かしてみたい人」などみなさんの声を、実際にお会いして聞かせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



地域の支え合い活動の紹介 地域ボランティア組織「サポートたいゆり」 「ボランティア項目の見直し」「一部を有償化」 新たな支え合いを始めています

平成30年11月に、太平百合が原地区社会福祉協議会のボランティア部会として発足した「サポートたいゆり」は地区内にお住いの方の **ちょっとした困りごと** を支援する活動を行ってきました。

そのようななかで、いくつかの課題が見えてきたそうです。

これからの社会は、生産年齢人口の減少により、高齢者の働き手が求められている。無償ボランティアで発足したが、協力会員を受け入れやすくし、安定した運営を行うことが必要なのではないか。

それら課題の整理と安定した組織運営を検討し、ボランティア項目を34項目から23項目へと整理し、ボランティア内容で「草むしり」、「樹木や花壇の手入れ」、「除雪」を有償ボランティアとして行うことになりました。

ボランティア依頼、相談は

毎週水曜日 午後1時30分～3時30分

電話 (011)-771-2728

※新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置期間」
は毎週水曜日の相談は中止しています。

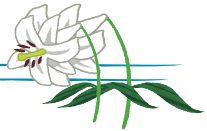
ボランティア内容の一部

- ・買い物代行
- ・電球の交換
- ・話し相手
- ・裁縫・つくろいもの など

有償

- ・草むしり
- ・樹木や花壇の手入れ
- ・除雪

ボランティア相談をしたい方は、生活支援コーディネーターへ気軽にご連絡ください。
担当者へのご連絡お手伝いします。



ワクチン接種の
予約で困っている



こんなことはありませんか？

新型コロナの感染
が心配で買い物に
行けない



スマートフォンを
子どもが持たせて
くれたが、使い方が
分からない



こんな時は、お気軽にコーディネーターへご連絡ください
コロナ禍での新たな地域のつながりをお手伝いします。

編集後記

～誰一人取り残されない地域づくり～

手に取って読んでくださりありがとうございます。

「地域のささえあい通信」は、今回で「第15号」となりました。

これまで数名のコーディネーターによって作成されてきた「通信」。

今回は、4月から担当となりました伊藤が作成しました。

いま本当に必要な支え合いの形は何なのか、新型コロナウイルス感染症による生活スタイルの変化、ワクチンを始めオンラインによる各種手続きの急速な普及など、高齢者を取り巻く環境は、スピーディーな対応が求められていると感じています。

「つながり、重なり、支え合う地域共生社会」を
今後も皆さんとともに考えていきたいと思っております。



札幌市北区社会福祉協議会
札幌市北区北24条西6丁目 北区役所1階

TEL: (011) 757-2482

FAX: (011) 737-7270

生活支援コーディネーター 伊藤